

再評価結果 (平成 17 年度継続予定箇所)

担当課: 中部地方整備局建政部都市整備課

担当課長名: 筒井裕治

事業名	鯛ヶ島八楠線		事業区分	街路	事業主体	焼津市								
起終点	自: 焼津市三ヶ名 至: 焼津市塩津				延長	0.513 km								
事業概要														
都市部における環状道路機能を有する本路線を整備することにより、鉄道で分断されている南北交通の円滑性を一層高め、安全な通行を確保し、市街地内の交通緩和を図ると共に産業活動等の向上や良好な居住環境の充実を図る。														
H 2 年度事業化	S 29 年度都市計画決定 (H 9 年度変更)	H 2 年度用地着手	H 7 年度工事着手											
全体事業費	約 38 億円	事業進捗率	85 %	供用済延長	0.513 km									
計画交通量	5,800台/日													
費用便益比	B / C	総費用	46.4 億円	総便益	65 億円	基準年								
	1.4	事業費 : 46.3 億円 維持管理費 : 0.1 億円		走行時間短縮便益 : 63.7 億円 走行費用減少便益 : -2.6 億円 交通事故減少便益 : 3.9 億円		平成 16 年								
事業の効果等														
1. 物流効率化の支援 … 焼津 I.C 取付道路や焼津漁港に直結することになりアクセスが改善される。														
1. 国土・地域ネットワークの構築 … 中心市街地と焼津 I.C 取付道路に直結することにより、中心都市へのアクセス向上が見込まれる。														
1. 個性ある地域の形成 … 鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消														
関連する地方公共団体等の意見														
平成16年12月3日に行われた、焼津市事業評価監視委員会で、出来るだけ早期に開通を行ってほしいとの意見が出されており、焼津市としても早期完成に努めている。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等														
本計画箇所の南側振興地域は、大型商店等が形成され買い物客が多く、北側は土地区画整理事業により市街地が形成され、地区人口の増加に伴い、本路線利用の増進が予想され、市民の本事業の早期完成への期待は一層高まっている。														
事業の進捗状況、残事業の内容等														
H13年4月に車道部の供用を開始														
現在東海道本線直下の地下歩道部をJRで委託施工中。(H15~H17年度)														
H17年度にJR委託工事が終了後、未施工部の工事を実施。(H17年度完了予定)														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等														
平成17年度上半期に鉄道直下地下歩道部(JR委託箇所)を完了させ、その後、地下道取合い部及びポンプ室、附属施設などの施工を行い平成17年度末に鉄道横断地下歩道を供用し、事業完了の見通しである。														
施設の構造や工法の変更等														
橋梁部: 7径間連続鋼床版鉸桁橋(桁長L=117.68m, W=426.8t)														
地下歩道部: U型擁壁L=75.82m, ホックスカルパ-トL=47.02m, L型擁壁L=9.01m														
対応方針	事業継続													
事業概要図														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供用中</td> <td>—————</td> </tr> <tr> <td>事業中</td> <td>.....</td> </tr> <tr> <td>再評価対象箇所</td> <td>//////</td> </tr> </tbody> </table>							凡 例		供用中	—————	事業中	再評価対象箇所	//////
凡 例														
供用中	—————													
事業中													
再評価対象箇所	//////													